

平成30年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択領域

講習の区分	受講者が任意に選択して受講する領域
講習の名称	「安全確保につながる運動」としての水泳の要件と実践方法
受講者定員	20人
受講対象者	全教員(校種、担当教科は問わない)
開設日	平成30年8月2日
講習の形態	実技、講義
講習時間	6時間
講習会場	鳴門教育大学 健康棟 2階 E202講義室 プール(予定)
担当講師	松井 敦典
受講料	6,000円

講習の内容	わが国の水泳教育は、他の国に見られない特徴的な学習内容です。体育種目のひとつとして取り扱われていますが、水難事故防止の目的も見逃せません。新しい指導要領にも「安全確保につながる運動」、「安全を確保するための泳ぎ」が新たに設けられ、安全に水辺活動をするための知識と技術の習得も求められています。 本講習では、水泳授業や学校・地域の行事として水辺活動を実施する際に活用できるよう、安全水泳の学習内容とその方法、その際のリスクマネジメントを取り扱い、プログラムを計画するためのヒントを提供します。
講習のねらい	教員が児童生徒を指導したり、引率・監督する際に役立つ安全水泳の内容と方法を理解し、特に初心者が安心して学習に取り組むための具体的な手順について学びます。また、サバイバル的な課題を設定し解決することにより、個や集団の安全力を高め(技能、思考・判断)、自信(態度)を持って水辺活動に取り組むための展開例を学びます。
講習到達目標	次の事項について理解し、説明あるいは実施することができる。 ①今日における水泳教育の意義と習得すべき内容 ②初心者が「溺れない」ために習得すべき知識と技術 ③基本的な泳ぎの技術と展開方法 ④「服を着たままの水泳」の内容と方法 ⑤水泳学習におけるリスクマネジメントの内容と方法
講習スケジュール	平成30年8月2日 8時50分～ 9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義 14時40分～16時10分 講義 16時18分～16時20分 試験説明 16時20分～17時00分 履修認定試験 17時00分～17時10分 事後アンケート、連絡事項
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。 履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としませんが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。
持参するもの	文部科学省学校体育実技指導資料第4集 水泳指導の手引(三訂版)、筆記用具、水泳演習の支度(水着、スイミングキャップ、ゴーグル、タオル、ラッシュガード、等)
その他	演習についてはプール実技を実施することを基本としますが、体調等の都合により観察も可とします。天候に応じて長袖ラッシュガード等着用を推奨します。(体にフィットしたものを推奨。ポケット・フード付きや余裕のありすぎるものは運動に不適)